

自治体
の紹介

背景



- 琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境
- 自然災害も比較的少ない
- 東海と近畿の中間点に位置し、鉄道と道路の結節点
- 県内総生産に占める第2次産業の構成比率 全国1位
- 県内に13の大学・短期大学（学生数3万人超）が集積

東北部工業技術センターのご紹介

工業系公設試験研究機関
(工業技術センター)とは？

→ 自治体が設置する機関であり、産業分野の研究開発や技術支援、情報提供を行う組織

技術相談

企業の技術相談に、職員が問題解決のお手伝い
年間 約7,000件

研究開発

企業・大学等との共同研究 年間 約25件

依頼試験

試験成績証明書の発行 年間 約600件



機器利用

試作開発、評価、分析など
ほぼ全ての試験研究機器を
有料で利用可能
年間 約4,000件

全国で一番に始めた滋賀県方式！

人材育成

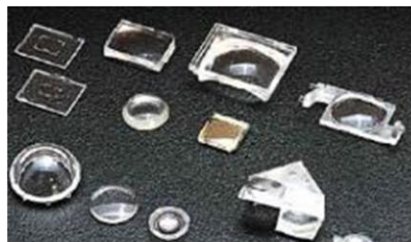
セミナー、講習会の開催 年間 約20回

滋賀県の中小企業の新商品・技術開発を支援 (開発事例の紹介)

長濱KNIT
縮緬の糸を利用したニット
浜縮緬工業協同組合ほか



LED用プラスチックレンズ
(株)カフィール・長浜市



鉛フリー銅合金鋳物ビワライト
(株)ビワライト・彦根市



現状の
課題

- ・ 県内発祥の大企業は非常に少なく、県外本社の大企業の工場の存在に頼りがち
- ・ 本県における技術職の雇用数は卒業する理系大学生数よりも圧倒的に少ない

→本県発のモノづくり企業の創出、育成を強かに支援！



- ・ 新規企業を創出するための環境整備とソフト支援が必要

→挑戦を下支えするためのイノベーション創出拠点

滋賀県から世界を変える挑戦者として社会課題解決へ挑む経営者が誕生しています！

※滋賀県を含む滋賀発成長産業発掘・育成コンソーシアムで行っている創業支援プログラム「滋賀テックプランター」から起業した事例

滋賀大学発
ベンチャー企業

株式会社イヴケア
代表取締役社長CEO
五十棲 計 氏

開発内容

「毛髪からのストレス調査」



長浜バイオ大学発
ベンチャー企業

株式会社ノベルジェン
代表取締役社長
小倉 淳 氏

開発内容

「生物由来の医療用接着剤」



事業の 目的

製造業のスタートアップとイノベーションを促進する工業技術センターを整備！

企業のチャレンジを
支援

企業のトライアルを
支援

地場産業のチェンジを
支援

ヒトやモノのネットワーク構築を
支援

- ① 滋賀大学(彦根キャンパス、大津キャンパス)
- ② 滋賀医科大学
- ③ 滋賀県立大学
- ④ 龍谷大学(瀬田キャンパス)
- ⑤ 立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)
- ⑥ 成安造形大学
- ⑦ 聖泉大学
- ⑧ 長浜バイオ大学
- ⑨ びわこ成蹊スポーツ大学
- ⑩ びわこ学院大学 びわこ学院短期大学部
- ⑪ びわこリハビリテーション専門職大学
- ⑫ 滋賀文教短期大学
- ⑬ 滋賀短期大学
- ⑭ 放送大学(滋賀学習センター)

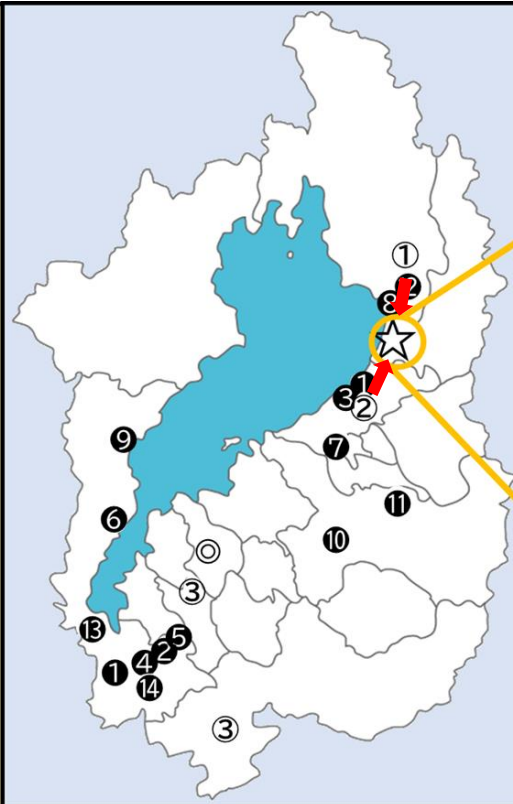
◎ 県立高等専門学校設置予定

① 長浜庁舎

② 彦根庁舎

☆ 新東北部工業技術センター

③ 工業技術総合センター(栗東、信楽)



長浜、彦根の2庁舎を統合

R7年(2025) 米原駅前にて (駅から徒歩7分)

事業
内容

ワンストップ支援：様々な技術課題に対応

試作環境を充実：各種3Dプリンタ、評価試験機、ニットマシン etc

オープンラボ、ファクトリー：共同研究開発環境（入居できる研究室、試作工場） **New!**

オープンサロン：企業、大学等との情報交流、連携、発信の場 **New!**

8 働きがいも
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

イメージ



オープンラボ、ファクトリー



オープンサロン



展示場

得られる
成果等

- ・「滋賀・米原」をオープンイノベーションの拠点に
- ・県内での起業が増え、成長することで、雇用が創出され地方創生が推進
- ・県内でのサプライチェーンの構築、強化

新たな分野にチャレンジする企業が生まれています！



「合わせガラス中間膜シート用材料を
活用した革新的リサイクル材料」
(県内企業)



「バタフライピー粉末をはじめとする
ハーブ原料の開発」
(日本アドバンスアグリ(株))



「家庭で手軽に洗える
シルク加工技術 (Yasa Silk)」
(浜縮緬工業協同組合)

寄附を
する
メリット
等

- ・事業拡大に貢献
- ・ご寄付いただいた皆様の銘板 (ビワライト製)



鉛フリー銅合金製の
ペーパーウェイト